

大町病院を守る会会報

No. 5

2011年4月発行

大町病院を守る会

発行責任者北村喜男

ありがとうメッセージとどく

大町病院の第1回目ポストをひらく

ひきつづき感謝のメッセージを

メッセージ 80 通がよせられる

2月3日に病院内に約25個のありがとうメッセージポストが設置されました。

設置後1月がけいかした3月7日に守る会役員等があつまりポストのとびらを開きました。

おおくの皆さんから感謝のメッセージが80通寄せられました。

これらのメッセージをかんけいの皆さんへお渡しします。またこの会報でお伝えします。

【別添】



お世話になった医師・看護師
職員・病院関係者の
皆さんにありがとうを

感謝の気持ちをおせわになった病院の皆さんにとどけましょう。

守る会ではひきつづきこの取り組みをすすめます。投かんされたメッセージは、それぞれの皆さんに装丁をして役員からおわたしました。詳細は「ありがとうメッセージ特集号」で報告します。

守る会総会は5月22日(日)

市立大町総合病院を守る会は3月15日、第6回幹事会をひらき、平成23年度の総会をひらくことを決めました。日時は5月22日(日)午後3時から市役所東会議室でかいさいすることになりました。

なにかとお忙しいところですが、ふるってご参加ください。また会員募集もいたしますので当日は友人や家族でお誘い合わせのうえご出席ください。

主要議題は①平成22年度事業報告

②平成22年度決算報告

③平成22年度監査報告

④平成23年度事業計画(案)

⑤平成23年度予算(案)

⑥役員選出

←開扉をする守る会役員

ありがとうポスト作成に

10数名参加

ありがとうメッセージの取り組みを幹事会で決定しメッセージ回収箱を1月26日(水)作りました。

参加者は役員等 10 数名が参加し、なれない手つきで、ナイフやのりと取り組み、25 個のポストを汗をながしながら作りました。



↑箱作りをする役員



↑箱に彩りを添える



設置された

メッセージポスト

病院内の各窓口で 25 か所のポストが設置されました。

待合の時間や家に帰ってからでもよいです。ぜひメッセージを！！

5月29日病院祭りを開催

歌手「^{さんしろう}三四六」が出演

出店などふるって提案を

大町病院では5月29日(日)午前10時から15時まで病院祭りを開催し、地域医療について市民の関心を盛り上げる。

メインテーマは「地域とともに歩む明るく開かれた病院をめざして」。

祭りには人気歌手の三四六の出演、医師による講演会や健康診断、食べ物の出店など盛りだくさんの企画が予定されている。

オープニングは「美麻源流太鼓」が撥をふるう。

病院からの要請にこたえ、実行委員会へ種山事務局長と高橋次長を送り、守る会として支援していくことを幹事会で決めました。

守る会として何ができるか検討をすることとしています。

会員の皆さんにアイデア、提案、たとえば出店、手作り製品の販売など良い案がありましたら事務局までお寄せください。

また、当日、売店など運営に協力していただける会員の応募もお願いしています。

種山事務局長携帯 090-3093-2032

高橋次長 携帯 090-4054-2747



東北・関東大震災に DMAT 派遣

大町病院 医療チーム 5 名 が釜石市へ

第 1 次・2 次医療救護班を岩手県、石巻市へ 10 名

日本 DMAT は今回の震災で、全国の病院へ出動を要請した。大町病院では 3 月 11 日から 14 日までの間、第 1 次派遣隊として伊藤仁医師、坂井てるみ・中村厚子看護師、小坂元紀臨床工学技士、高橋勇太事務職の 5 人チームで大町病院を救急車で出発した。混乱する現地で直ちに任務に就き 48 時間フルタイムでの救援医療活動を行い無事帰還した。到着場所となった大町病院玄関前には牛越市長、新津副院長、矢口看護部長、牛越事務長、医師、看護師など 35 名余が出迎え、報告を受け、労をねぎらった。

医療救護班を派遣

大町病院では医療救護班をこれまで二班、出動させた。第 1 回は 3 月 16 日～19 日まで北村真友医師、池田溪子・松尾恵理子看護師、武井康訓薬剤師、黒岩徹事務職の 5 名を岩手県釜石市へ、第 2 回を 26 日～29 日まで、鈴木敏郎医師、池添奈緒子・佐藤京子看護師、酒井豊臨床検査技士、宮島尚子薬剤師の 5 名を宮城県石巻市に派遣しました。

危険の伴う余震が続くなかでの仕事とでした。この後 4 月には新たに医療救護班の派遣を予定しています。



↑北村医師を中心に第 1 回救護班現地にて(提供病院)



報告、慰労・感謝のあいさつ(病院ホール)

また、この間、医師はじめ医療スタッフは職員の少ない中、皆で大町病院を支えて頑張りました。すべての病院関係者に感謝します。病院では今後も引き続き、医療救護班を派遣する予定です。(詳細は大町病院の HP をみてください)

人間ドック受診報告 (H・T)

2月8日から1泊人間ドックを大町病院で受けた。当日は5名で8時半に3階、健診センターで受付、順次メニューにそって検査が進められた。

1日目採尿、採血、身体測定、胃カメラ検査、問診、聴力検査、内科診察、泌尿器科、(女性はマンモグラフィー)。昼食後外科、直腸診、乳房検診、心電図、胸部レントゲン、負荷心電図・肺機能検査血圧・脈派検査(オプション)、おやつ休憩ののち保健指導(一人約20分)送迎バスでくろよんロイヤルホテルへ(泊)。午前の検診の山であった胃カメラは、若手の医師がスムーズにカメラを内部に入れ、壁となっているところへは空気を送り込み丁寧に調べる。自分も画面を見ながら。某テレビでこのとき見ていないと言っていた食道がんも大町病院ではきちんと調べていただいていた満足!!カメラさばきも上手に短い時間で済んだ。

昼食の献立は、ハマチの照り焼き・中華炒め・胡麻和え・カニ酢・ヨーグルトかけ・お吸い物・ご飯と豪華で満腹となる。カロリー計算では主食抜きで575Kca。ご飯を加え、805Kcalとなる。

検査のため、朝食抜きの胃袋で目の輝きが違う。

胃カメラでポリープの検体を採取されすぐ食べられない人は、食事時間に合わせ温めた食事が用意された。細かな配慮と豪華な昼食ありがとうございました。午後のおやつはザラメのまぶした、せんべいと、あんこをスポンジ様の皮で包んだ小型のお菓子にお茶またはコーヒーを入れてもらう。セルフサービスとっていたら看護師に入れてもらい何となくうれしく優雅でゆっくりとした雰囲気です。



くろよんロイヤルホテルでは、天然かけ流しの温泉へ入る。ぬるめの檜風呂・普通・露天風呂がある。この日は雪が降っていて雪見風呂となった。誰が読んだか「春に花あり、夏に風あり、秋に月あり、冬

に雪あり、一献に風情あり」湯からあがったの夕食は差し障りない範囲での酒類は許された。(自己負担です。)

夕食メニュー(643.58Kcal)

信州サーモンのマリネ ワサビ風味 サラダ仕立て・信州きのこのパイونسープ・山女、岩魚のヘーゼルナッツドレッシング・お口直しのグラニテ(信州リンゴ)・信州SPFポークの網焼き 浅葱風味と信州野菜の茹で上げ。焼きたてフランスパンとバター。旬の果物の長野県産シードル風味の観点アスピック仕立て・コーヒー。久しぶりの洋食に舌鼓を打った。

食後、岩盤浴もありお願いすれば入れる。利用券がセットされて当日限で使用できる。



2日目

腹部超音波検査、採血・採尿(血糖負荷検査1時間・2時間ごとに採血・採尿)、血圧測定、婦人科検診、昼食後総合結果説明。

これまで他の医療機関で人間ドックを受けてきたことを思い出すと、大町病院のドックは1日に受診する人数が少なく丁寧に検診・検査をしてもらえ、指導、結果説明も丁寧に行われ満足のいくものだった。特に腹部超音波検査では先日放映されたテレビの「動脈瘤について調べてください。」と言ってみると「ちゃんと見ていますヨ。」との返事に安心する。

昼食は松花堂弁当・ロブスター・牛ヒレステーキ・コンピサラダくるみ和え。ロブスターにはびっくり。豪華でこんなに食べてよいものかと思いつつ、しっかりいただきました。

結果説明では一つ一つの項目に医師が丁寧に説明し、気になる部分では継続しての受診を指導してくれました。

「体重が、身長からいって10kgおおすぎます。落しましょう。」「先生それは無理です。」「それじゃー今年3kg落しましょう。」「。。。。。」

宿泊・遊弋・温泉・岩盤浴がついて66,150円

ツインルームを一人でゆったり、リッチなドックでした。

【問い合わせ 大町病院健康管理室 22-0415

内線 2359】